

図5 看護職の直属上司, 看護職員数別

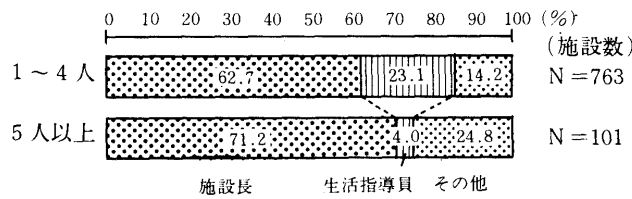


図6 看護職の直属上司, 設置主体別

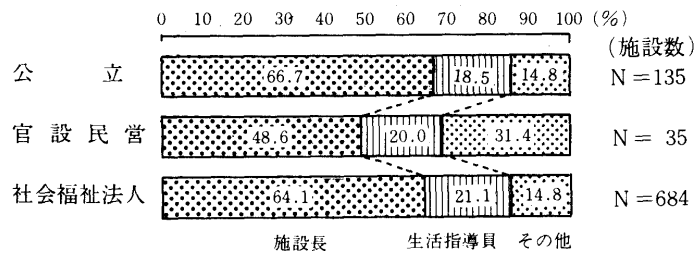
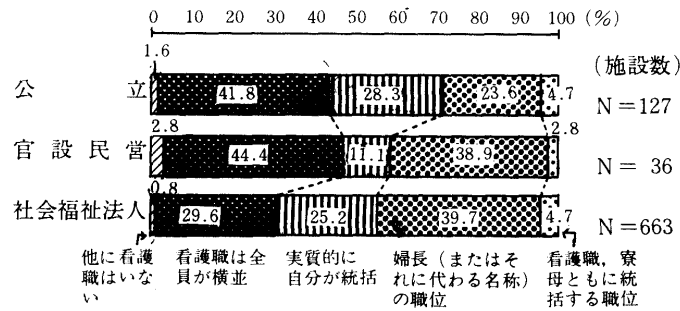


図7 リーダー看護職の職位, 設置主体別



職種の下に位置づけられ、「公立」で看護職の責任者のポストがない施設が多い(図6, 7)。

III 施設の医療状況

1) 日常医療

1日6時間以上、週5回以上を常勤とみなした場合、常勤医がいる施設は1割で、9割は常勤医がない(表22)。内科医の定期的回診はほとんどの施設であり、その回数は週1～2回が7割弱を占めている。少ないところは1回、多いところは毎日と格

表22 常勤医(1日6時間週5日以上勤務)の有無

い	る	84	9.5
い	ない	795	90.3
無	回答	2	0.2
計		881	100.0

表23 医師の定期的回診の有無〔複数回答〕

内 科 医	840	95.9
精 神 科 医	355	40.5
歯 科 医	111	12.7
整 形 外 科 医	134	15.3
そ の 他	260	29.7
計	1700	194.1
有効回答施設数	876	100.0

*医師の所属や契約の形態のいかんを問わない

表25 入居者の病状が急変した場合の医師往診の可否

夜間を含めほとんど得られる	650	73.8
昼間ならほとんど得られる	91	10.3
得られないことがよくある	59	6.7
ほとんど得られない	78	8.9
無 回 答	3	0.3
計	881	100.0

*医師の所属や契約の形態のいかんを問わない

差が大きい (表23, 24)。

入居者の病状が急変した場合の医師往診は、4分の3は昼夜とも問題ないが、残りは夜間などに問題があり、8.9%の施設が「往診はほとんど得られない」と回答している (表25)。

施設内診療所で保険診療が行えるか否かも、施設における日常の医療を左右するところであるが、保険医療機関の認可を得ているところは3割である (表26)。

2) 専門診療科

内科以外では、定期的回診のある施設は、精神科40.5%、歯科12.7%、整形外科15.3%である。それぞれの回診回数は表27~29のとおりである。このようにホームの中で専門診療科の受診は困難なので、看護職は必要に応じて、入居者を外部の医療機関で受診させるよう配慮する必要がある。

外部での受診については、耳鼻科と眼科について困難がみられている (表30)。

表27 精神科医の回診回数 (月間)

1 回 未 満	6	1.7
1 回	201	56.6
2 ~ 3	66	18.6
4 ~ 7	50	14.1
8 ~ 10	21	5.9
12 ~ 24	7	2.0
無 回 答	4	1.1
計	355	100.0

平均2.4回

*精神科医の定期的回診のある施設のみ

表24 内科医の回診回数 (月間)

1 ~ 3回	50	6.0
4 ~ 7	250	29.7
8 ~ 10	329	39.1
11 ~ 15	82	9.8
16 ~ 19	28	3.3
20 ~ 23	43	5.1
24 ~ 25	45	5.4
26 ~ 30	10	1.2
無 回 答	3	0.4
計	840	100.0

平均8.9回

*内科医の定期的回診がある施設のみ

表26 施設内診療所が保険医療機関であるか否か

は い	256	29.1
い い え	603	68.4
無 回 答	22	2.5
計	881	100.0

表28 歯科医の回診回数 (月間)

1 回 未 満	2	1.8
1 回	32	28.9
2 ~ 3	20	18.0
4 ~ 7	40	36.0
8 ~ 10	12	10.8
無 回 答	5	4.5
計	111	100.0

平均3.4回

*歯科医の定期的回診のある施設のみ

表29 整形外科医の回診回数（月間）

1	回	23	17.2
2	～ 3	35	26.1
4	～ 7	52	38.8
8	～ 24	24	17.9
計		134	100.0

平均4.3回

*整形外科医の定期的回診がある施設のみ

3) 入院医療

併設の病院を有している施設は34%である(表31)。併設病院がない場合も特別養護老人ホームは協力病院を持つことが義務づけられている。

緊急に入居者を入院させる必要が生じた時、ほとんどが「たいていスムーズに入院できる」(83.7%)としているが、「付き添いなしで入院できるところが少なく苦勞する」(14.4%)、「協力病院や近隣の病院は、空ベットがなくてすぐに入院できないことがよくある」(8.9%)、「病気・病状によっては受け入れ先がなくて苦勞することが多い」(6.9%)などの問題をかかえているところもある(表32)。受け入れてもらいにくい病気・病状としては、痴呆症状を伴ったり精神科疾患がある場合、骨折や脳卒中など介護に手がかかる場合、緊急の症状がない、あるいは治療の対象でないと病院が判断する場合などがあげられている。

表30 通院で受診可能な診療科〔複数回答〕

(診察時間も含め往復3時間以内で通院が出来、実際に入所者がよく通院する医療機関では、どのような診療科の受診が可能ですか(施設内診療所を含む)。

内 科	834	94.9
精 神 科	578	65.8
歯 科	759	86.3
外 科	739	84.1
整 形 外 科	745	84.8
皮 膚 科	681	77.5
耳 鼻 科	588	9.9
眼 科	757	12.8
そ の 他	248	4.2
計	5929	674.5
有効回答施設数	879	100.0

表31 併設または隣設の医療機関の有無

病 院 が あ る	287	32.6
診 療 所 が あ る	112	12.7
病院と診療所がある	11	1.2
な い	462	52.5
無 回 答	9	1.0
計	881	100.0

表32 緊急入院はスムーズにできるか〔複数回答〕

たいていスムーズに入院できる	735	83.7
病気・病状により受け入れ先がなく苦勞する	61	6.9
付き添いなしで入院できるところが少なく苦勞する	126	14.4
協力病院・近隣病院には空床が少なく入院できないことがよくある	78	8.9
計	1000	113.9
有効回答施設数	878	100.0

IV 入居者の状況

1) 入居者の年齢および入居期間

特別養護老人ホームの入居者が高齢化しているといわれているが、本調査では施設ごとの入居者平均